平成 28 年度												
					担 部 局 名 市民生活部							
第5次結城市総合計画実施計画策定及び行政評価シー						ト 当 課 名 防災安全課						
the state of the s						部係	名 消防防災					
1. 事業の概要						마시		電話(				
(1) 事業種別					怪備事業(消	防ボンフ目動	<b>卑購人</b> )	(	3) 事業の	Α		
									優先度			
	(4) 総合計画での位置づけ				( ) 3 - 11 - 11			市				
	1 事業の区分主要事業② 施策コード24401(総合計画掲載ページ 84基本目標(政策)2安全で住みやすさを実感できるまちづくり(都できるまた)基本施策2-4安全に暮らせる安心なまちづくり(防災・防					事業の性質						
2				4 ページ)			一般会計					
1				まちづくり(都	市•環境)	の種別	財源区分	市単独				
3				ぶくり(防災・防	≀犯•安全)		予算科目	款 9 項 1	<b>=</b> 3			
J	施策	④消防·救急	体制の強化						車購入事業	費		
7	施策	内容 1消防団施設(	の整備・更新			事業名称 (予算書 150 A°-			1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	<b></b>		
(5	) 事	業期間 開始 平成	27 年 4	月から		(8)事務分類 自治事務						
		終了	年	月まで(	力年)	根拠法令	消防組織法					
2	. =	事業の目的及び内容					•					
(1	) 文ī	象(だれに対して・6	可に対して行うの	のか)	(3) めざ	す姿(意図・	・どのような	状態になるの	か)			
	結場	城市域の家屋等防火対象	*物					自動車10車両, 打				
								防力の強化と火災	どその他の災	(害防		
					御体制の強化を図る							
(2	<u> </u> \ ∓		トニなことな行	うのか)								
( _		5化した消防車両(車齢1)										
		3 第9分団(H12年式 2t)		7707史初								
	H29	第5分団(H12年式 2t)										
		) 指令車 (H13年式 マー   第6分団(H14年式 2t)			(4) 事業開始のきっかけや他市の状況など							
		1 第0分回(F14年式 2t) 2 第7分団(H14年式 2t)			(※ 1-(8)事務分類が法定受託の場合は記入の必要なし)							
		, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	点検			時において, ポンプ機能の低下等が指摘されている						
(5					ーズ等)や市民・議会の要望,意見等とそれに対する対応							
	消	方団員の中には, オートマ	7限定の運転免許耶	Q得者が出て	きており, そ	れに対応すべ	く消防車両のス	トートマ化が必要	となっている	•		
3	•	事業コスト										
		行政評価 実績	責内容の評価									
		実施計画		検討	• 改善		検討・i	改善内容を反映				
•	予算	· 算内訳	実績額(千円)	当初予算	額(千円)		計画額・	見込額(千円)				
			27 年月	度 28	8 年度	29	年度	30 年度	31	年度		
		消防ポンプ自動車(第9分団)			18,271							
		消防ポンプ自動車(第5分団)			,-,1							
		指令車										
		消防ポンプ自動車(第6分団)	<b>私事/笠€八円</b> \									
	事業	/										
1	未費											
_												
事												
防事		A=1										
事務事業費		合計			18,271							
費		国庫支出金 (千円)										
のコ		県支出金 (千円)										
コス		地方債 (千円)			13,500							
1	財	その他特定財源(千円)										
	源	一般財源 (千円)			4,771							
		合計 (千円)			18,271							
					プ自動車購							
		補助・起債制度名		入事業債	į							

## 4. 指標の検証(活動指標・成果指標)

指標の名称				単位	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	
(1	(1) 活動指標(実施した事業の内容)									
	指標名	更新車両数	目標値	台		1	1	1	1	
		<u> </u>	実績(見込)値	П		1				
			目標値							
			実績(見込)値							
(2	(2) 成果指標(事業実施によるめざす姿の達成度)									
	指標名	更新車両数	目標値			1	1	1	1	
			実績(見込)値	台		1	1	1	1	
			達成率		0.0 %	100.0 %				
			目標値							
			実績(見込)値							
			達成率		%	%				

## 5. 事業評価

(1)平成27年度の行政評価結果をうけて、平成27年度に取り組んだ改革改善点があれば記載してください。

## (2) 項目別評価

(2) 块色加叶圃							
評価項目•客観的評価				理由			
必要性	事業の必要性	А	必要性は高い	緊急時に使用する車両であるため、計画的な更新は必要である。			
妥当性	実施主体の 妥当性	А	妥当である				
女当江	手段の妥当性	А	妥当である				
効率性	コスト効率 人員効率	А	改善の余地はない	大規模な修繕が発生する前に更新することにより、コスト削減を図る。			
公平性	受益者の偏り	А	偏りは見られない	順次更新をしているため,偏りはない。			
有効性	成果の向上	А	上がっている	車両を更新することにより,消防活動における安全性がが向上している。			
進捗度	事業の進捗	А	順調である	大幅に耐用年数が過ぎている車両はなくなった。			

(3)総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください。

以前の車両更新時に、2台同時に更新している年度があるため、現時点でのペースで更新していくと、その分の遅れが生じてく る恐れがある。

(4)対応策・提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか?

車齢と同時に、修繕などの状況を考慮しながら更新計画を作成していく。

## 6. 事業の方向性判断

評価主体	28年度以降の事業の方向	要に
(1)記入者評価 記入者が評価を行う	改善・改革しながら継続(原果向上・コスト維持又はコスト削減,成果維持・コスト維持又はコト削減)	注) 記入老け「5、東業評価」を記載するため、この爛け去記入で結構です
(2)一次評価 担当課長が評価を行う	改善・改革しながら継続(月果向上・コスト維持又はコスト削減,成果維持・コスト維持又はコト削減)	対 消防団活動を支える消防ポンプ自動車は、緊急車両であり、本市の車両(ポンプ) は他市に比べて実働時間が長いこともあり、年次計画に基づき順次更新して行く。 はない、機能性を重視した車両の導入を図る。
(3)最終評価		上記評価のとおり。
企画調整会議において		
評価を行う		